

1. 件 名：原子力事業者防災訓練の意見交換

2. 日 時：令和元年11月6日 13:30～15:30

3. 場 所：原子力規制庁3階 ERC

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

児玉企画調整官、川原防災専門職

東芝エネルギーシステムズ株式会社原子力技術研究所

所長 他1名

5. 要 旨

東芝エネルギーシステムズ株式会社原子力技術研究所が令和元年10月8日に実施した原子力事業者防災訓練に対する当庁気付き事項及び事業者抽出課題について意見交換を行った。

主なものとして、以下のような意見があった。

- ・ 防災管理者は事態収束に向けた戦略をERC対応者と情報共有が不十分であった
- ・ FAX通報紙において、正確な語句の記載でなく省略化した表記であった、特定事象判断について根拠を明示していなかった、また昨年課題であった誤記に対する送信前での誤記チェック体制が機能していなかった、誤記報に対する訂正報が発信できでいなかった
- ・ 初期通報として、避難者情報が漏れ、報告が遅れた（前回課題）
- ・ ERC対応者はEALに至る重要な情報をタイムリーにERCへ連絡できなかった、数値情報については単位やその確認時刻が漏れ、また事態の進展予測について説明がなかった

原子力規制庁より、これら意見を踏まえ、改善が必要となる事項については、原因の分析とその対策を検討し、今後の原子力防災対策に向けた改善点として、防災訓練実施結果報告書にまとめるように伝えた。

6. その他

配布資料：

資料－1 訓練課題対応資料